

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	菌 核 病	萎 黄 病	黒 斑 病	芽 枯 病	疫 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	輪 斑 病	じ や の め 病	角 斑 細 菌 病	黒 色 根 腐 病	黒 腐 病
ベニカB T殺菌剤粒	11A		*t	-								◎					
サフオイル乳	NC		1	-								◎					
I Cボルドー66DFL	M1		*k	-							◎						
コサイド3000DF	M1		-	-							◎				◎		
イオウFL	M2		*i *k	- -								◎ ◎					
クムラス顆水	M2		-	-								◎					
トップジンM水㊦	1		*s *c *h	- 3			◎	◎					◎				
ベンレート水㊧	1		*d *j *s	1 3 1			◎	◎		◎	◎	◎					
アフェットFL	7		1	3	◎							◎	◎			◎	
カンタスDF	7		1	3	◎												
ケンジャFL	7		1	3	◎							◎					
パレード20FL	7		1	3	◎							◎					
アミスター20FL	11		1	*n	◎						◎						
スクレアFL	11		1	3		◎						◎					
ストロビーFL	11		1	3								◎					
ファンタジスタ顆水	11		1	3	◎						◎						
オラクル顆水	21		*j	3						◎							
ランマンFL	21		*j *p	2 2						◎ ◎							
モベントFL	23		*u	1									◎				
フロンサイドSC	29		*j	1							◎						
フルピカFL	9		1	3	◎							◎					
セイビアーFL20	12		1	3	◎						◎						◎
スミレックス水	2		1	3	◎		◎										
ロブラール500アクアFL	2		1	4	◎												
ロブラール水	2		1	4	◎	◎		◎									
サブロール乳	3		1	5								◎					
サンリット水	3		1	3							◎	◎					
スコア顆水	3		1	3								◎					
トリフミン水	3		1	5								◎	◎	◎			
ラリー乳	3		1	3								◎					
ポリオキシシナL溶	19		*q	3	◎							◎					
レーバスFL	40		*f *j	2 2						◎ ◎							
キノンドーFL	M1		*j	3							◎						
サンヨール乳	M1		1 *b	6 1	◎							◎ ◎					
アントラコール顆水	M3		*a	6							◎						

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	菌 核 病	萎 黄 病	黒 斑 病	芽 枯 病	疫 病	炭 疽 病	う ど こ 病	輪 斑 病	じ や の め 病	角 斑 細 菌 病	黒 色 根 腐 病	黒 腐 病
ジマンダイセン水	M3		*L	6							◎			◎			
ペンコゼブ水	M3		*L	6							◎						
マンゼート水	M3		*L	6							◎						
オーソサイド水80	M4		*q	5	◎				◎		◎						
ベルコートFL	M7		*m *f	5 5	◎		◎				◎	◎	◎				
デランFL	M9	劇	*j	2							◎						
モレスタン水	M10			1	2							◎					
エコピタ液	-			1	-							◎					
ピタイチ乳	-			1	-							◎					
ユニフォーム粒	4・11		*e	1						◎							
リドミルゴールドMZ 顆水	4・M3		*j	3						◎							
ゲッター水㊦	1・10		*h	3							◎						
ニマイバー水㊧	1・10			1	3	◎					◎	◎					
シグナムWDG	7・11			1	2	◎					◎	◎					
ピカットFL	7・9			1	3	◎		◎			◎	◎					
ファンベル顆水	11・M7			1	3	◎					◎	◎					
ショウチノスケFL	9・U13			1	2	◎						◎					
ジャストミート顆水	12・17			1	3	◎											
パンチョTF顆水	3・U6			1	2							◎					
フセキワイドFL	53・M7			1	4						◎	◎					

㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベニミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。*a:仮植栽培期 *b:定植前 *c:仮植時及び仮植栽培期 *d:本圃定植後(但し収穫30日前) *e:定植時 *f:収穫前日まで(生育期) *g:育苗期～収穫前日 *h:収穫開始21日前まで *i:親株床初期 *j:育苗期 *k:発病前～発病初期 *L:仮植栽培期(但し収穫76日前まで) *m:育苗期(定植前) *n:苗木4回以内、本圃3回以内 *p:生育期(但し収穫30日前まで) *q:収穫開始14日前まで *s:仮植前 *t:発病前 *u:育苗期後半～定植当日

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ザ ミ ウ マ	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ	カ キ ノ ヒ メ ヨ コ バ エ	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ	オ オ タ バ コ	ヨ ト ウ ム	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ	シ ク ラ メ ン ホ コ リ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	ハ ダ ニ	ネ グ サ レ セ ン チ ユ	ナ メ ク ジ
除虫菊乳3	3A		1	5			◎												
スピノエース顆水	5		1	2	◎														
ダブルシューターSE	5--		1	2	◎		◎											◎	
コロマイト水	6		1	2											◎			◎	
コロマイト乳	6		*e	2														◎	
アタックオイル	UNM		-	-														◎	
スプレーオイル	UNM		-	-														◎	
トモノールS	UNM		*g	1														◎	
ハーベストオイル	UNM		-	-														◎	
ラビサンスプレー	UNM		-	-														◎	
サフオイル乳	-		*g	1														◎	
カルホス微粒F	1B	劇	*b	1		◎	◎										◎		
スミチオン乳	1B		1	2		◎													
ダイアジノンSL ゾル	1B		*b *g *f	1											幼				
ダイアジノン粒5	1B		*b *a	1											幼 幼				
ネマキック粒	1B		*g	1															◎
ネマトリンエース粒	1B		*g	1														◎	◎
マラソン乳	1B		3	5	カ	◎												◎	
アーデント水	3A		1	4	カ	◎												◎	
アディオン乳	3A		1	5		◎													
ガードバイトA粒	3A		*c	5										◎					
フォース粒	3A	劇	*b *a	1											幼				
マブリック水20	3A	劇	1	2			◎							◎					
アクタラ粒5	4A		*a	2			◎												
アドマイヤー1粒	4A		*a *d	1			◎ ◎												
アルバリン粒	4A		*a	1			フ												
スタークル粒	4A		*a	1			◎												
ダントツ粒	4A		*a	1			◎												
バリアード顆水	4A	劇	1	3			◎	◎											
ベストガード溶	4A		1	3			◎	◎											チ
ベストガード粒	4A		1	3															チ
モスピラン顆溶	4A	劇	*a	1			◎												チ
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎	◎	◎												チ

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	ア	ア	コ	カ	ク	オ	ヨ	ハ	ネ	コ	シ	チ	ハ	ネ	ナ
					ザ	ブ	ナ	キノ	ロ	オ	ト	ス	キ	ガ	シ	ラ	ヤ	グ	メ
					ミ	ラ	ジ	ノ	バ	オ	ト	モ	リ	ガ	ラ	ヤ	グ	メ	
					ウ	ム	ラ	ヒ	ネ	タ	ウ	ン	ム	ネ	メ	ホ	サ	ク	
					マ	シ	ミ	メ	キ	バ	ム	ヨ	シ	シ	ホ	レ	セ	ジ	
								ヨ	コ	コ	シ	ト	シ	ホ	ン	ン	ン	ウ	
								コ	バ	バ	ウ	ウ	ウ	コ	コ	コ	コ	コ	
								コ	エ	コ	シ	ウ	ウ	リ	リ	リ	リ	リ	
								コ	バ	エ	シ	ウ	ウ	ダ	ダ	ダ	ダ	ダ	
								コ	エ	バ	シ	ウ	ウ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	
								コ	エ	エ	ウ	ウ	ウ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	
								コ	エ	ガ	シ	ウ	ウ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	
								コ	エ	ガ	シ	ウ	ウ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ	
モスピラン粒	4A		*a	1			◎	◎											
トランスフォームFL	4C		h	3			◎	◎											
ディアナS C	5			2	◎		◎		◎			◎							
アグリメック乳	6	劇	*m	2														◎	
アニキ乳	6		n	3						◎		◎						◎	
アフーム乳	6			2						◎	◎	◎						◎	
コルト顆水	9B			3		◎	◎			◎	◎	◎							
チェス顆水	9B			3		◎	◎												
ニッソラン水	10A			2														◎	
バロックFL	10B			1														◎	
コテツFL	13	劇		2								◎			◎			◎	
アタブロン乳	15			3			◎					◎							
カウンター乳	15			4			◎					◎							
カスケード乳	15			3			◎		◎			◎							
マッチ乳	15			4			◎					◎							
ファルコンFL	18			3						◎		◎							
マトリックFL	18			3								◎							
ロムダンFL	18			2								◎							
カネマイトFL	20B			1														◎	
マイトコーネFL	20D			2														◎	
サンマイトFL	21A	劇	*i	1			フ	◎							◎	◎	◎	◎	
ダニトロンFL	21A			1														◎	◎
ハチハチFL	21A	劇	*l	1	◎	◎			◎									◎	
トルネードエースDF	22A			2						◎		◎							
ファイントリムDF	22A			2						◎		◎							
アクセルベイト粒	22B			3								◎							
モベントFL	23		*k	1	灌	灌	灌		灌							灌	灌		
			r	3	◎	◎	◎												
				1												灌			
スターマイトFL	25A			2											◎			◎	
ダニサラバFL	25A			2														◎	
ダニコングFL	25B			1														◎	
フェニックス顆水	28			2						◎		◎							
ブレバソンFL 5	28			2								◎							
ベネビアOD	28			3	◎	◎	◎	◎	チ			◎							

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア	ア	コ	カ	ク	オ	ヨ	ハ	ネ	コ	シ	チ	ハ	ネ	ナ
					ザ	ブ	ナ	キ	ロ	オ	ト	ス	キ	ガ	ク	ヤ	グ	メ	
					ミ	ラ	ジ	ノ	バ	オ	ト	モ	リ	ガ	ク	ノ	ダ	サ	メ
					ウ	ム	ラ	ヒ	ネ	タ	ウ	ン	ム	ネ	ラ	ホ	コ	レ	ク
					マ	シ	ミ	メ	キ	バ	ム	ヨ	シ	ム	メン	コ	リ	セ	ジ
					シ	ミ	バ	コ	ノ	コ	ト	ト	シ	シ	ホ	リ	ダ	ン	ク
					マ	シ	バ	コ	ノ	コ	ト	ウ	シ	シ	コ	リ	ダ	ニ	ク
					類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
ベリマークSC	28		*x 1 *d 1 *k 1									元							
ヨーバルFL	28		1 2		灌	灌	灌		チ	○	○	灌	灌						
ウララDF	29		1 2				○			○									
セコンドDF	29		1 2				○	○											
グレーシア乳	30		1 2		○					○		○						○	
ダニオーテFL	33		1 2															○	
ファインセーブFL	34	劇	1 3		○														
ブレオFL	UN		1 4		○					○		○							
エコピタ液	-		*g 1	-														浸	
オレート液	-		*j 1	-		○	○											○	
サンヨール乳	-		1 6			○												○	
サンヨール液AL	-		1 6			○												○	
ナメトックスハウス	-		*p 6																○
ピタイチ乳	-		1 -		○	○												○	
ナメクリーン3粒	-		1 2																○

*a:定植時 *b:植付時(仮植床) *c:生育初期 *d:育苗期後半 *e:仮植前まで
 *f:ポット育苗時 *g:定植前 *r:定植3日前～定植当日
 *h:生育期(定植30日後まで)(但しマルチ被覆直前まで) *x:定植直後
 *i:収穫開始3日前まで *j:発生初期～収穫前日まで *k:育苗期後半～定植当日
 *l:一番花の開花まで *m:親株育成期 *n:育苗期 *o:発生初期 *p:発生時
 カ:ミカンキイロアザミウマ
 チ:チバクロバネキノコバエ (チビクロバネキノコバエ)
 ワ:ワタアブラムシ
 親:親株床 浸:苗浸漬 幼:幼虫 灌:灌注処理での登録 施:施設栽培での登録 元:株元
 灌注

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
病害虫名 (萎黄病)	育苗期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次のいずれかの薬剤を灌注する。 トップジンM水和剤#㊦ 300～500倍 3L/㎡ ベンレート水和剤㊧ 500倍 50～100ml/株	# 仮植時および仮植栽培期 ㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ペノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く)。
芽枯病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 800倍	
炭疽病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	病原菌はシクラメン、ペゴニア、シンビジウムにも炭そ病をおこす。 # 育苗期 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を認めたら、次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 オーソサイド水和剤80 800倍 キノンドーフロアブル# 500～800倍 ゲッター水和剤●㊦ 1000倍 デランフロアブル# 1000倍 ベルコートフロアブル# 1000倍	
うどんこ病	育苗中～本畑	1. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 1500～2000倍 イオウフロアブル# 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000～5000倍 トリフミン水和剤● 3000～5000倍 パンチョTF顆粒水和剤● 2000倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 ポリオキシシAL水溶剤 5000倍 モレスタン水和剤△ 3000～4000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	薬剤は葉の表裏に十分かかるように散布する。 親株床や仮植床での防除を徹底する。蔓延すると防除は困難になるので、初期の防除を心がける。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 # 親株床初期の場合は、500～1000倍。 △モレスタンは高温時に散布すると薬害を生じやすい。

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 0.5g/株	
	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 チェス顆粒水和剤 5000倍 2. 施設ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	
オオタバコガ	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 チェス顆粒水和剤 5000倍 バリアード顆粒水和剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000倍 ディアナSC 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 2000倍 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 サブリーナフロアブル* 500～750倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレバゾンフロアブル5 2000倍	*野菜類での登録
コガネムシ類(幼虫)	仮植床	・仮植床植付時に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 ダイアジノン粒剤 4～6kg/10a フォース粒剤 6kg/10a	ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、アカビロウドコガネの幼虫が根部や根冠部を害する。

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類	生育期	<p>・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>カネマイトフロアブル 1000～1500倍</p> <p>スターマイトフロアブル 2000倍</p> <p>ダニサラバフロアブル 1000倍</p> <p>ダニトロンフロアブル☆ 1000～2000倍</p> <p>ニッソラン水和剤 2000～3000倍</p> <p>バロックフロアブル☆ 2000倍</p> <p>マイトコーネフロアブル 1000倍</p>	<p>☆ミツバチに影響の少ない薬剤</p> <p>天敵昆虫農薬(施設栽培):スパイデックス、スパイカルEX、ミヤコバンカー等</p>
イチゴメセンチュウ	定植前	<p>1. 健全な親株から苗を取る。</p> <p>2. 被害苗、被害株は抜き取る。</p>	<p>成長点付近に寄生し、ランナーで伝播する。</p>
ネグサレセンチュウ	定植前	<p>1. 定植前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。</p> <p>ネマキック粒剤 15～20kg/10 a</p> <p>ネマトリンエース粒剤 20～25kg/10 a</p>	
その他の病害虫		ナメクジ	